

みずほCustomer Desk Report 2018/06/26 号(As of 2018/06/25)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.69
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	109.94	1.1661	128.20	1.3234	0.7438
SYD-NY High	110.03	1.1713	128.84	1.3292	0.7443
SYD-NY Low	109.37	1.1629	127.30	1.3222	0.7397
NY 5:00 PM	109.76	1.1703	128.45	1.3281	0.7413
NY DOW	24,252.80	▲ 328.09	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,532.01	▲ 160.81	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,717.07	▲ 37.81	米国2年債	2.5350	▲ 0.83bp
日経平均	22,338.15	▲ 178.68	米国5年債	2.7524	▲ 1.36bp
TOPIX	1,728.27	▲ 16.56	米国10年債	2.8812	▲ 1.28bp
シカゴ日経先物	22,195.00	▲ 345.00	独10年債	0.3245	▲ 1.00bp
ロンドンFT	7,509.84	▲ 172.43	英10年債	1.2905	▲ 2.80bp
DAX	12,270.33	▲ 309.39	豪10年債	2.6305	▲ 2.00bp
ハンセン指数	28,961.39	▲ 377.31	USDJPY 1M Vol	7.31	0.46%
上海総合	2,859.34	▲ 30.42	USDJPY 3M Vol	7.61	0.16%
NY金	1,268.90	▲ 1.80	USDJPY 6M Vol	8.05	0.07%
WTI	68.08	▲ 0.50	USDJPY 1M 25RR	-1.28	Yen Call Over
ORB指数	195.34	▲ 2.19	EURJPY 3M Vol	9.13	0.14%
ドルインデックス	94.31	▲ 0.21	EURJPY 6M Vol	9.33	0.02%

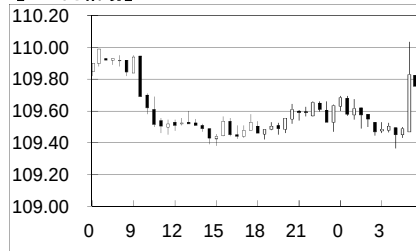
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月25日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	「物価に関する分析と議論を深める必要がある」	
	17:00	独 IFO企業景況感指数	6月 101.8	101.8
	23:00	米 新築住宅販売件数	5月 689k	667k

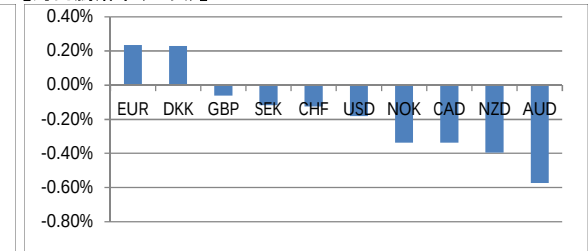
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月26日	10:20	欧 クーレ ECB 専務理事 講演	-	-
	18:30	英 マカファティ BOE 委員 講演	-	-
	23:00	米 コンファレンス ボード 消費者信頼感	6月 128.0	128.0
	-	加 ボロス・カナダ中銀総裁 講演	-	-
6月27日	02:15	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	02:45	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.70—110.00	1.1640—1.1740	126.50—127.70

【マーケット・インプレッション】

東京時間と同様に海外市場でも米中貿易摩擦激化の思惑で米ドルは資源国通貨を除く主要通貨に対し広範に続落した。しかし、NY時間遅くにナバロ米国家通商会議委員長による「対米投資の抑制は計画していない」との発言が伝わると株式市場が急速に下げ渋りドル/円は110円台まで買い戻される場面もあった。本日も為替市場は株式市場動向の影響を色濃く受け、米中間で週末までに具体的、ポジティブな合意がなされるかどうか鍵であり、合意なき場合は109円割れを見込む。

東京	東京時間のドル円は109.94レベルでオープン。先週金曜日にトランプ大統領がEU加盟国に対し関税を賦課する可能性を示唆したことに加え、米国政府が中国からの投資を制限する計画と一部の報道を受けてリスク回避的な動きが強まりドル円は軟調推移となり109円台半ばまで下落。一旦は下げ渋り方向感に乏しい推移が続いたが、午後に入り日経平均株価や中国株が下げ幅を拡大する展開となると、ドル円は再び下落基調となり一時109.38まで下落。その後小幅に水準を回復し109.54レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.54レベルでオープン。トランプ米大統領が中国企業への対米投資制限について、6月末までに規制の原案を発表する予定と報じられたことが、欧州時間でも意識され、109.42まで売られる。一服後は米金利上昇につられ、109.64円まで小幅に上昇し、109.60レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1640レベルでオープン。仏中銀総裁の株式市場の過熱を危険視する発言や、独IFO業況指数が、6月は101.8に低下(5月:102.3)し、貿易戦争懸念を背景に企業幹部の心理が悪化していることが示唆されたこと等から、序盤は上値重く推移。しかし、メルケル独首相率いるキリスト教民主同盟(CDU)が、移民問題を巡り党内合意できたと伝わり一気に転じ、1.1694まで上昇。1.1688レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は109.60レベルでオープン。朝方は米5月シカゴ連銀全米活動指数が市場予想を下回ったが、ドル円の反応は限定的だった。その後、日平均が下げ幅を300ドル超まで拡大する中109.47まで下落するが、米5月新築住宅販売件数が予想を上回ったことや、この水準での押し目買いに109.69まで戻す。午後は米株が再び下落する動きを横目に、ドル円もじりじりと下落し109.37をつけるが、終盤にナバロ米委員長の「トランプ政権の通商政策は誤解されている」、「米経済は強く、4%の成長を想定」と述べたことから、ドル円は買われ110.03まで急伸し、109.76レベルでクロス。一方、ユーロドルは1.1688レベルでNYオープン。オープン直後は1.1702まで上昇するが、早朝のユーロ買いが一服し1.1671まで反落。その後軟調な米株の動きにつれてドル売り優勢となり1.1713までじりじりと上昇。終盤はナバロ氏の発言にドル買いが強まり1.1698まで下落し、1.1703レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:加藤・森谷